

大志会 黒澤 昭治 議員

市庁舎の建替について

質問(大志会・黒澤昭治議員)

東日本大震災により本庁舎が被害を受け使用不可能となっているが、効率的で効果的な行政運営と市民サービスの向上を図るため、一刻も早く新庁舎の建設を行うべきと考えるが、新庁舎の建設計画について市長の考えを伺います。

答弁(市長)

震災により本庁舎が使用不可能となつて以来、今日の市民の皆様にご不便をおかけしていることは大変心苦しく、また申し

わけなく感じています。

市庁舎は、地方自治体がサービスを行う上でその拠点となる施設であり、その必要性は十分に認識していますので、ご提言をいただいたとおり一刻も早く新庁舎を建設すべきであると私も考えております。

既に大田原市庁舎整備検討委員会から出された答申を尊重し策定した大田原市庁舎復興再整備基本構想の中で、庁舎の目指すべき姿を明らかにしているところでありますが、建設事業費

の財源確保はどうするのか、また整備手法をどうするのかなどは検討課題としており、結論に至っていません。こうした状況から、平成29年度完成というスケジュールはおくれるものご理解ください。
なお、延べ面積1万平方メートルの規模で震災に強く、環境に配慮した庁舎を現在の敷地内に建設するという方針を堅持しつつ、その実現のための方策として土地利用等の準備を進めるとともに、基金の積み立て等による財源確保にもあわせて努めていきます。



震災により使用不可能となったため、解体されている本庁舎

大志会 黒澤 昭治 議員

大田原マラソン大会について

質問(大志会・黒澤昭治議員)

大田原マラソン大会の更なる躍進について伺います。

答弁(教育部長)

大田原マラソン大会は、県内唯一の公認大会として厳しい制限時間を設けるなど、競技性の高い大会と位置づけられています。

そのため、ランナーにとって自己記録の更新に挑戦する大会でもあり、適正な規模を維持し、走りやすい大会として運営していくことが必要だと考えています。

昨年11月23日に開催した第26回大会も、月刊「ランナーズ」が選ぶ全国ランニング大会100選に97年から17年連続入選し、ますます全国のランナーから注目される大会となりました。これは、ランナーにとってストレスの少ない大会との認識が定着したものと理解しています。

第26回大会では、スタート地点のネットタイムの計測を導入しましたが、計測マットの幅が狭く、スタートブロックの管理に一部混乱が発生しましたが、その反面、近年指摘されていた

陸上競技場出口の混雑については、ランナーの絞り込みを徹底した効果もあり、解消されましたので、第27回大会ではこれらの反省点のさらなる改善を図ります。

また、第27回大会においては、市制施行60周年を迎える記念大会となります。公認大会のため制約もありますが、第26回大会で大変好評だった市内中学校吹奏楽部による応援を陸上競技場内で実施するほか、共催イベントの見直しやランナーへのサービスの向上を図り、当日出場者数の目標を5000名とし、今年度を上回る規模で開催できるようにエンタリー時に地元ランナーの出場枠を確保する等、さらに運営面の改善を重ねたいと考えています。



県内唯一の公認大会である大田原マラソン大会